

力強さと優美なバイオリン

25日、渡辺玲子さんリサイタル



渡辺玲子さん

世界的なバイオリニスト渡辺玲子さんが25日、秋田市のアトリオン音楽ホールでリサイタルを開く。得意の力強いバッハの無伴奏演奏のほか、自ら組み合わせた「珠玉の小品集」で、シ

ューベルトの「アヴェ・マリア」など優美な楽曲も披露する。

渡辺さんは1984年にヴィオッティ、86年にパガニーニ両国際コンクールで最高位を受賞。「バイオリンの華やかさを忘れたくない。歌うように旋律の豊かさを表現したい」。バッハの無伴奏作品に取り組み、国際的にも高い評価を受け

ている。

東京生まれのニューヨーク在住だが、秋田ともゆかりが深い。秋田市の国際教養大の中嶋嶺雄学長と親しく、2004年の開学以来、集中講義を受け持つ。

今秋も集中講義の間、自宅から譜面や生活に必要なものを持ってきて秋田で暮らした。「農作業したり、紅葉を見に行ったりと、自然と触れ合う中で自分にゆとりが生まれた」。自身もバイオリンを演奏する中嶋学長は「理知的でテクニカルな演奏をするが、秋田での時間を通して音楽に艶が出たように感じる」。

コンサートでは前半、バ

ッハの無伴奏バイオリン・パルティータ第3番とエルンスト「庭の千草」の主題による演奏会用変奏曲を披露。後半では渡辺さんが用意した三つのプログラムから事前投票で最も人気だった小品集を演奏する。ベートーベンの「ロマンス へ長調」やエルガー「愛のあいさつ」など前半とは違う趣の曲を奏でる。渡辺さんは「クリスマスに楽しみながら音楽に親しんでほしい」と話す。

午後6時半開演。全席自由で一般3千円、学生1500円(当日は各500円増)。問い合わせは秋田朝日放送販売事業部(018-8888-1505)へ。